

令和8年度 入学者選抜学力試験 国語 前期／経済

解答例 大問一

問一 ア 漫画      イ 熟睡      ウ 叙述      エ 過酷／苛酷      オ 連鎖      カ 緩急

問二 ピダハンは実際に見たり体験したりしたことのない事柄に関心がなく、価値や情報を行動や言葉を通じて「生のかたち」で伝えようとするため、価値を、数や色の名前のような抽象的、記号的なもの、普遍化のための概念に置き換えることをしないから。(114字)

問三 必ず直面する収穫逦減と、それゆえ移動が暮らしに埋め込まれていること。(34字)

問四 ほかの人びとより多くの努力を費やして食物を余剰に生産しても、それは自分のものにはならず、自分より働かなかった誰かのものになるので、村人全員が「いかに努力しないか」を競って、最少生計努力の社会になる。(99字)

問五 何らかの用事をひねり出して誰かの家を訪問したり、さりげなく誰かに分けてもらったりすること。(45字)

解答例 大問二

問一

「AI美空ひばり」という人工的存在は、知的活動ではなく深い美的経験に踏み込んで来たからであり、しかも、美空ひばりというある年代以上の日本人にとって「神様」に近い存在を機械によって出現させて見せたことで、機械が美的領域を超えて、ある種の宗教的領域にまで踏み入ってきたといえるから。(139字)

問二

私たちが騙されまいとするのはあくまで人間相手であり、騙そうとするのも通常は人間であると考えられるから。(51字)

問三

芸術が芸術であるためには、いわば「作為」でありながらあたかも「自然」であるかのように現れ、そういうものとして受容される、ということが必要であり、「機械仕掛けの神」はその意味で不自然だから。(94字)

問四

AIが芸術を生み出せるか否かは、それが芸術にいかにも似たものを作り出せるかということではなく、芸術という「作為」の中にある種の「自然」を見るような認識のモード転換が発生するか否かにかかっており、それが発生すれば、「騙す」とは手段としての意味を失うから。(126字)